

組合員数116,323人
支部数 929
読者数 70,649人
(連絡先) ☎03(5978)2751 FAX03(5978)2777
E-mail/honbu@nenkinsha-u.org
ホームページ/年金者組合と入力し検索して下さい。

年金者しんぶん

第328号 2017年4月15日(土)
(通巻第527号)

全日本年金者組合中央本部
〒170-0005東京都豊島区南大塚1-60-20天翔大塚駅前ビル
発行人 富田 浩康 月刊1部100円(組合費を含む)
昭和57年6月30日第三種郵便物認可

仲間をふやし 地域から世の中変えよう

5・6月は「仲間づくり月間」

「仲間をふやして、地域から世の中変えよう」と全日本年金者組合は5月と6月を「仲間づくり月間」に設定し、4月はその準備・助走月間とし、組織の躍進を目指しています。若者も高齢者も安心できる年金制度を求める署名運動の過去最大の広がり共感のなかで、全支部と全都道府県本部が目標を決め、推進ニュースも発行して、支部役員が先頭にたって全組合員の取り組みにしていこうと中央本部は呼びかけています。

愛知・豊橋田原支部は、念願だった「400人」を突破できました。今後、退会者も見込まれる中、支部役員会は「安定的な400人維持を」と全組合員に呼びかけ、支部特別月の4月20日まで奮闘中です。全国5、6月の「春の仲間づくり月間」ではさらに前進していきます。(豊橋田原支部)

念願の400人突破

愛知 豊橋田原支部 独自の特別月間で「月間」本番でさらに前進へ

「5日現在」
は4年越しの支部目標でしたが、なかなか達成できないでいました。今年に入って、支部機関紙が4月に200号を迎えることから、「記念号」に「400人達成！」の文字を躍らせようと支部独自の特別月間(2~4月)を設定しました。役員が多くがその気になり、20人を拡大、3月下旬に400人



3月8日、経団連に抗議する「エキタス」



栗原耕平さんに聞く

最低賃金の引上げを求める若者グループ「エキタス」の

連帯広げ貧困打破へ

生活できる年金は世代を超えた要求

「若者・現役世代対高齢者」「正、正義」のメンバー栗原耕平さん(21)は「最低賃金を(時給)1500円に、という私たちの要求は、年金者組合の最低保障年金創設の要求とも一致します」と言います。栗原さんに聞きました。

「貧困に強い関心をお持ちのようですね。栗原さん 若者の貧困は深刻です。高校時代は野球部でしたが、部員の中にはアルバイトに追われ、体に限界がきて、練習を休みがちの仲間もいました。彼はシングルマザーの家庭だったので、シングルマザーの家庭の貧困が最も深刻です。最低賃金1500円を要求していますが。現在、最低賃金は全国平均で823円、東京で932円。これではフルタイムで働いても年収200万円というワーキングプアの水準です。最低賃金を1500円にすれば、3月8日、経団連に抗議する「エキタス」

「エキタス」は最低賃金の経営を圧迫しないよう「中小企業に税金まわす」とも主張します。過労死水準の残業規制を認める経団連会長発言への抗議行動も行いました。4月15日集会・デモを計画していますね。栗原さん 貧困なのは自己責任と思いがちな人、貧しさに対する怒りが運動につながる人、人間らしく働ける社会を目指していきます。

フルタイムで年収280万円。貧困解消で消費が増えますから景気回復、地方活性化にもつながる、皆が支持できる要求です。4月15日のデモは「連帯」をテーマにかけ、労働組合の旗や職の持ち込みを解禁し、労働組合と市民が一緒に声をあげよう、「エキタス」は呼びかけます。一年金についてはどう考えますか。栗原さん 年金者組合の皆さんは年金削減に反対し、最低保障年金を要求していますが、若者は「最低賃金が1500円になったら貯金したい」といいます。年金保険料を払えず、将来が不安だからです。生活できる年金の確保は、高齢者だけでなく世代を超えた要求だと思います。すべての人が無条件に人間らしく働ける社会を目指していきます。

▼栗原耕平さん(都留文科大学3年の21歳、将来は研究者をめざしています。首都圏青年ユニオンに加入し、「エキタス」で仲間と活動中。

風雪

南スーダン「日報」問題。日報には陸自宿営地付近で起きた「戦闘」の様子が生々しく書かれている。防衛省は南スーダンでの「戦闘」は衝突だと言った。戦闘が起きていればPKO参加5原則が崩れ、自衛隊派兵は憲法9条が禁じる海外での武力行使。政府は1カ月の残業時間上限を「100時間未満」とした。100時間の残業は「過労死ライン」。労働者の命を財界に売り渡す「特別」。法定残業は1日8時間、週40時間(特例44時間)が上限。森友学園に8億円値引きで国有地売却。幼稚園児に「教育勅語」を唱和させる教育方針に安倍首相と昭恵夫人は共鳴し感動したと協賛。100万円の寄付は現実に政府は「共謀罪」を閣議決定。安倍政権を批判したこのコラムを書いた私の逮捕は必至。核兵器廃絶、原発廃炉、沖縄基地撤去、都政を都民に取り戻すは目前の急務。一日も早く安倍政権の退陣を。(文)

針路

●4月は「春の仲間」への月間の準備と助走
各県本部の方針に沿って、支部はそれぞれの目標を討議・決定し、特別のニュースの発行や統一行動などの取り組みの計画、推進体制を明確にして5〜6月の月間本番を迎えるよう周到に準備します。

いて熱心に討論・交流しました。その内容と教訓を生かし、この春の「月間」では大いに奮闘しましょう。

●新年金署名、医療・介護署名、ヒバクシャ国際署名、そ

さず、年金の「毎月支給」即時実施、最低保障年金創設などを求める新年金署名の訴えを表面に、その裏面で裁判運動を扱った宣伝・学習チラシを全国に送ります。署名、仲

支部交流集会の教訓を生かし 春の「月間」大いに奮闘しましょう

呼びかけて小さくさまざまな年金問題・裁判の学習会を組織します。地裁宛「公正判決要請署名」と裁判募金の訴えを忘れずに。募金は目標の70%近くに達しました。4月末までの目標達成にがんばりましょう。

国会上程反対デモに3000人

思想・信条はおろか、内心にまで踏み込み罰しようとする「共謀罪」の国会上程に反対する国会デモが3月16日に行われました。このデモは法律家団体が主催し、労働組合や民主団体から約300人が参加。年金者組合も中央本部と首都圏の仲間が参加しました。

日比谷公園霞門のデモ出発集会では「東京オリンピックのため、テロ防止のためという安倍政権のデマ宣伝が国民に見抜かれ、共謀罪反対が賛成を上回ってきている」との報告があり、参加者を勇気づけました。

「おしゃべりもできない共謀罪」「メールを覗く」などのプラカードをかかげて行進した参加者らは衆・参議院面会所で、民進党、日本共産党の議員から激励を受け、エールを交換しました。



2〜3月、過去最高の参加者で開いた全国9地方ブロックと首都圏4都県の「支部交流集会」は、とくに支部活動、文化・レク・サークル活動、女性部、共済活動の強化について、中央本部は近々、「年金カット法」の実施を許かりです。中央本部は近々、組合員と支援する会会員は、もちろん、地域の老人会や現役の若者、女性の労働者、公務員などに



カジノあかん3・25大阪集会

響き渡る カジノはあかん

3・25大阪集会に960人

3月25日、「カジノあかん3・25大阪集会」が大阪市内で開催されました。昨年、自民と維新の会が「カジノ解禁推進法」を公明党の手を借りて強行成立させたこと

「森友問題の真相を隠す安倍政権は退陣せよ」「共謀罪は絶対に許さない」など、3月19日、国会議員会館前にシュプレヒコールがこだましました。総がかり行動実行委員会の集会には約480

止の住民投票に勝利した台湾から4人が集会に参加、熱意あふれる連帯のあいさつと報告もありました。カジノ反対の一点で「連帯の輪を大阪の隅々に広げよう」のアピールを採択しました。パレードには300人が参加し、大阪の街に「カジノあかん」の声が響き渡りました。

戦争法廃止、安倍内閣は退陣を

3・19総がかり国会前集会

0人が参加し、各団体の代表が、沖縄、南スーダン自衛隊日報かくしなど、安倍政権の悪政を糾弾し、闘いの決意を表明しました。

博衆議院議員(民進党)、福島瑞穂参議院議員(社民党)がかけて、安倍政権の国会運営、発言を糾弾し、野党と市民の共同で総選挙に勝利し、安倍政権を退陣に追い込もうと訴えました。



3・19総がかり集会

2017年第28回

機関紙コンクール 開催について

- 2017年第28回「年金者しんぶん」機関紙コンクールを下記の要項により行います。すべての都道府県本部・支部からの積極的な応募をお待ちします。
- ◇対象紙=年間を通じて定期発行している都道府県本部・支部と各女性の会(部)の機関紙誌で、今年4月と5月に発行したものを。
- ◇締め切り=5月25日(木)中央本部必着のこと。
- ◇応募方法=各号とも10部、封書の表に「機関紙コンクール参加」と朱書きを。
- ◇選考基準=中央本部の機関紙コンクール「審査基準」により、最優秀賞、優秀賞、入選、努力賞を選出する。
- ◇選考委員会=中央本部役員および編集委員から10人程度と日本機関紙協会の代表により構成。
- ◇発表・表彰=6月22〜23日開催の第23回定期大会で発表・表彰。最優秀賞および優秀賞は副賞を進呈する。

仲間づくりを第一議題に

新見 総合的な活動で4倍化

岡山

岡山県新見支部は2006年8月に33人で結成し、支部執行委員会で開催する第一議題として、10年間繰り返し討議、昨年12月には4倍以上の



市、市教委などの後援で震災復興「うたごえのつどい」

154人になりました。年金をよくする運動をすすめているのは年金者組合だけであることを確信に活動としては、費用6000円以内での春の旅行、秋のハイキング。隔月開催の歌声喫茶からは「コーラス年輪」が生まれ、さまざまなところで発表しています。

8月下旬には震災復興と平和を願う「うたごえのつどい」を、市、教育委員会など10団体の後援をうけて開催してきました。チケット販売の収益金は市を通じて被災地に送っています。

機関紙も編集委員会を確立して内容を充実させて、一昨年は全国機関紙コンクールで入賞しました。

負担でたくさん楽しめる。一組で取り合う、記憶力

大阪・堺美原支部は堺市の北半分を基盤とする約550人の堺北支部の4分会の一つでした。2016年6月、堺北支部の4分割・独立できたのが、堺市美原区(人口約4万人、高齢者人口約1万人)を基盤とする堺美原支部で、100人足らずの小さな生まれたる支部です。

新見支部発展の教訓は、①執行部がやる気になり、月1回以上の拡大統一行動を行い、成果をあげてきたこと②うたごえ喫茶、うたごえのつど

支部あげて交通改善運動

堺美原 小支部の良さ仲間大切に

大阪

などを通じて、年金者組合が広く新見地域で知られるようになったこと③自治体交渉や議会陳情を行い高齢者の要求や願いを広めていることなど

作りのお祝いカードを贈ります。役員が毎月の組合行事の参加を呼びかけ、参加が困難な人には対策を立てます。ウォーキングや芋煮会では車いす、テールといすを用意し、駅には役員を配置し、仲間に寄り添いました。

サークルは5つで、単発的な有志の企画(梅見、兵馬備見学など)も紹介します。組合員の思想・信条を大切に、悩み、被害、法律問題にも対応。組合共済の加入に

があります。また、年金署名でも、オレンジ色の自前のほっぴを着てアピールし、目標を達成しています。(笹井勇二)



支部主催の「落語・交通を考えるつどい」

も取り組んで、42人が賠償責任共済に加入しています。月に1回の支部行事(ウォーキング、文化のつどい、うたごえ喫茶など)を地域の人たちにも呼びかけて成功させてきました。

地域の切実な要求である美原区の交通改善にも取り組んでいます。美原区は堺市の他の区より交通移動が困難な地域です。第一回総会で「交通や安全など住みよい地域

にするため努力する」との方針を決定し、今年1月から2000枚のチラシをまき、1000筆を目標に「美原区の交通改善署名」に取り組み、区長、堺市公共交通課とも話し合いました。さらに1667筆の署名を力に3月堺市議会に陳情し、佐治支部長が意見陳述をしました。3月の支部行事には「落語・交通を考えるつどい」を開催しました。

こうした取り組みで、昨年6月総会時81人だった組合は現在97人となりました。(一家正統)

創意工夫して支部活性化

ブロック交流会 報告から

愛媛県本部松山支部の組合員は400人。うち女性が半数以上です。役員数でも23人中女性は10人。二人ぼっちの高齢者をなくそう「学べば楽しく、学べば役立つ」を合言葉に13のサークルで活動しています。

百人一首かるた。二人一組で取り合う、記憶力

レクリエーションを心がけています。

攻撃などの悪政に立ち向かっていきます。長い間、

年金相談、2年に1度の組合員アンケートを要求をまとめ、安心して暮らせる街づくりを松山市と交渉しています。

13サークルと宣伝、相談

松山 春、市民権もつ組織へ

愛媛

の勝負で、ボケ防止にも

「楽しみ7分」ですが、

年金支給日にはデパート前で署名宣伝をしています。

ユニークなのは「小倉

ク、作品発表会、少ない

年金カット法や社会保障

す。

山とスキーは富山の楽しみ

スキーでころび、山に期待

昨年から年金者の集まりで、スキーが話題になりました。いきさつは、65歳の時、子どもからお下りのスノーボードをもらい体力をつけるために、4年前からはじめたことから。



実は、高齢者ばかりのスキーです

「会」の発足の決行となりました。このスキー場はスノーボードのメッカと呼ばれスキー客は約1割、初心者には少し難しいコースの作りですが、そこそこ楽しんでくれます。

冬、外へ出る機会の少ない富山で「楽しみの場を持つてはどうか?」「団塊の世代はスキーの経験者も多いだろう」との思いもあり、「会」をつくれるのではないかとという話になりました。さて今年こそ「会」を発足させるぞと、新年に集まりを持ち、赤倉で1泊2日の発足会を企画し、年金者組合のニューも集まらず、結局、三人で2月15日、日帰りのシヤルマン火打スキー場で

ところがこの目論見は、見事に破産、ひとり欠け、二人欠け、応募者も集まらず、結局、三人山好きの人もいるので、山のシーズンに期待します。

高齢者のスキーの集まりは難しいのか、前途多難の船出となりました。山好きの人もいるので、山のシーズンに期待します。(長谷川博)

貧困高齢者増える一方

必要生活費保障する年金を

3月3日、年金者組合が衆議院で開催した年金問題学習会で唐鎌直義立命館大学教授は、貧困高齢者が増えている、社会保障としての公的年金制度を確立することが重要だと強調しました。

左表のように、実質的生活保護基準（高齢者単世帯で年収160万円

高齢者の貧困率増加 (厚労省・国民生活基礎調査より)			
2009年	24.7%	496.7万世帯	641.2万人
2014年	26.2%	617.2万世帯	791.4万人

消費税の負担は高齢者に重く (総務省・家計調査年報より)			
2013年(5%)			
高齢者夫婦世帯	消費税負担率5.07%	年間税額130,697円	年収1398万円の世帯
2014年(8%)	消費税負担率1.91%	年間税額272,767円	
2014年(8%)			
高齢者夫婦世帯	消費税負担率8.07%	年間税額200,827円	年収1398万円の世帯
	消費税負担率2.99%	年間税額417,517円	

この15年間で、無職の高齢者夫婦世帯の平均月収は25万5千円から20万7千円に下がったのに、実支出は26万9千円が20万9千円とほとんど変わっていません。しかし、水道光熱、保健医療、交通通信は増えていて、被服・履物、教養娯楽費、交際費などが減っています。貯金の取り崩しもふえており、公共料金の負担増のために、消費を抑えていることは明らかです。

者夫婦世帯では3%増ですが、勤労者世帯平均は1.56%増ですから、いかに消費税が高齢者いじめかがわかります。

社会保障充実こそ景気回復実現の道

安倍政権が医療と介護市場化をすすめる、年金を削減しているのが、最大の問題です。地方に行きますと県民所得の4割が年金です。高齢者の消費減退は地域総崩れを招きます。国際的に見ても緊縮財政ではなく、社会保障を充実させている国は景気回復をしています。

新潟県本部が地裁に提訴

年金裁判43都道府県に

年金者組合新潟県本部は稲葉正美県本部委員長を団長とする12人が原告となり、年金額の抑制は生存権などの侵害で違憲だとして、3月30日、新

潟地裁に提訴しました。約70人が参加した提訴前集会では、稲葉正美委員長があいさつ、上地源光書記長は全県で学習会を開催し500人を超え

る仲間が裁判への参加を表明しているとのべました。土屋俊幸弁護士、佐藤一弥新潟県労連議長、吉田松雄県生活と健康を守る会事務局長らがあいさつし、裁判勝利を意思統一しました。



宮城県気仙沼市と本吉郡をエリアとする日刊紙三陸新報が3月22日の社説で「年金削減と生活の最低保障」という

ベノミクスの恩恵は浸透しているとは到底思えないとし、年金をたよりに生活之余儀なくされているのが現状、と指摘。さらに、マクロ経済スライドを「毎年確実に年金支給額が下げられていく真綿で首を絞められるような実感を抱いている受給者が多くなっているはずだ」と批判しています。

そして、年金者組合の裁判を一関心が集まっている」と紹介し、「年金削減で一番被害を受けるのは若い世代である。最低保障年金制度の実現を目指す年金裁判に共鳴している国民は多い」と結んでいます。

三陸新報が社説掲載 年金削減批判し裁判を評価

年金者何でも相談

私は現在61歳ですが、国民年金の保険料を納めた期間が22年しかありません。このままだと65歳時に支給される老齢基礎年金の額は年額42万8615円(月額3万5717円)しかならないそうです。年金額を増やす方法はありませんか。

A あなたが今、働いていて、厚生年金に加入していただければ、70歳まで加入できます。加入した年数の少ない場合は、国民年金基金の掛金と給付は複

雑ですので、基金へ問い合わせさせて下さい。また、過去5年以内の期間に、国民年金保険料の滞納がある場合は、後納保険料を納めることができます。後納保険料を納められる期間は2018年9月30日までとなっています。(年金相談室 小林善雄)

寒サニ負ケズ 街頭署名行動

寒さがきびしかった2月も、年金支給日の15日を中心に全国各地で年金者組合の仲間たちは街頭署名・宣伝に取り組みました。

北海道本部札幌西支部(写真上)は82筆を集めました。

和歌山県本部有田支部(写真下)は9人が参加して、ゆあさ農協前でアピールしました。

池田番代子さん(ドイツ文学部) 同行
沖縄戦の日(6/23)に 古聖実吉さん(元東条軍医)に会った
沖縄戦の真実4日間
● 6月22日(木)～25日(日)
● 102,500円(羽田発着)
● 30名様(最少催行20名様)

小笠原好彦先生 同行
(滋賀大学名誉教授・考古学)
中国最古の王朝「殷」を訪ねて
中国河南省への旅7日間
～竜門石窟・洛陽城・少林寺・殷墟への旅～
● 5月19日(金)～25日(木)
● 223,000円(関西空港発着基準)
● 25名様(最少催行15名様)

いずれも添乗員同行、空港諸税等別途詳しい旅行条件書をお送りしますのでご確認の上お申し込み下さい。
【お問合せ・申込先】 東京都知事登録旅行業 第3-6101号 株式会社タビセン・つなぐ
TEL:03-5577-6300 FAX:03-5577-6310 〒101-0064 東京都千代田区猿楽町1-3-1-302
[メール]info@tabisen-tsunagu.com [Web]http://tabisen-tsunagu.com
【企画・実施】株式会社タビーズ 観光庁長官登録旅行業 第1-1906号 東京都港区芝5丁目13-18いちご三田ビル

年金相談 毎週月・木の10時30分～15時
30分まで ☎03・5978・2751